

## ご挨拶

農)おくたま農産  
代表理事組合長 小野寺勝義



<発行人>  
農事組合法人 おくたま農産  
責任者 代表理事組合長 小野寺勝義  
連絡先 0191-56-2301  
E-mail okutama-nousan@tmt.ne.jp

年明けから寒い日が続いています。最低気温は予報より低くなくても最高気温が上がらない日が多く感じます。作業に当たって頂いている皆さんには感謝です。

いよいよ令和8年の味噌の仕込みが開始しました。豆の出来が良かったので味噌の出来にも期待してしまいます。昨年少し考えさせられる出来事がありました。毎年味噌を送っていた親戚に「あといらない」と連絡いただきました。おくたま農産の味噌がおいしくない訳でなく名古屋に住んで50数年「八丁味噌」に馴染んだことから、こっちの味噌をもらっても料理に困るとの事でした。いわゆる”手前味噌”に私がなっていたことに気づかされました。それぞれの食文化の話になるので相手の事を理解しながらなんでもしないとだめだなと・・・。

突然、国会が解散となり選挙が始まりました。例年年末に交付になっておりました産地交付金は政治の混乱で遅れていたのに、これでは新年度予算も遅れるのではないかと心配しています。予算が遅れても作業は遅れるわけにはいかないので進めますが、議員の皆さんは何を考えているのやら・・・。

今年の作付けから主食米を多く作付けする計画です。組合員や地域の皆様に供給できるように体制を整えたいと考えます。どうかよろしく願いいたします。

## 令和8年度作付計画について

(圃場ごとの主な変更点は裏面に記載しています。)

右表のとおり8年度の作付計画を策定しました。3月までに圃場状況や水利の確認等しながら決定していくこととなります。

### 《計画の特徴》

- ①ひとめぼれの作付けを拡大  
⇒販売価格の上昇、飯米供給に組合員向けの取り組みのため面積を大幅増
- ②WCS(つきはやか)の面積拡大  
⇒補助事業を活用し収穫機等を導入し生産販売しましたが畜産農家から好評で面積拡大の要望も出されており拡大します。
- ③大豆「リョウユウ」の面積拡大  
⇒試験栽培した結果、品質・収量とも良好であり面積を拡大します。ただし種子確保の数量が未確定のため変更なる見通しです。

※WCSとは:ホール・クロップ・サイレージの略称で稲の穂と茎葉を栄養価の高い湖熟期～黄熟期の丸ごと収穫し乳酸発酵させた(サイレージ)ものです。

品目	品 種	8年度計画	7年度実績	6年度実績
主食用米	ひとめぼれ	61.3 ha	2.7 ha	0 ha
	銀河のしずく	7.8 ha		
	こがねもち	2.0 ha	1.1 ha	1.1 ha
飼料用米	たわわっこ	0 ha	73.9 ha	67.9 ha
	つぶゆたか	67.4 ha	57.4 ha	76.3 ha
WCS ※	つきはやか	9.2 ha	4.2 ha	1.1 ha
大豆	リュウホウ	10.6 ha	29.5 ha	24.5ha
	リョウユウ	10.8 ha	0.3 ha	0 ha
スイートコーン	味来 ほか	2.1 ha	2.1 ha	2.1 ha
その他	牧草 ほか	1.2 ha	1.2 ha	0.9 ha
合 計		172.4 ha	172.4 ha	173.9 ha

## 白鳥たち渡り鳥は、間もなく北へ向かって旅立ちか?! なんかソワソワしてる感じ!

おくたま農産の圃場で羽を休め、エサ(落穂ひろい)を食べ、まるまると太った白鳥など渡り鳥は、間もなく旅立とうとしています。



1月末から2月にかけて日本海側では、連日大雪に見舞われ、2mを超える積雪だそうです。幸い奥玉地区内では寒さはあるものの雪は少ない状況でした。

立春(2月4日)の午前中に撮影した室根山は薄っすらと白くなっているもの午後には無くなりました。(そういえば今年は、雪掻きって2回くらいしかしてないな!助かる!)

## 《令和8年度作付け計画》（圃場ごとの主な変更点）

変更される圃場(字名で記載)		変更なしの圃場(字名で記載)	
此ノ手	飼料米(たわわっこ) ⇒ 主食米(ひとめぼれ)に変更	坂 下	変更なし WBC(つきはやか)
宝 築	飼料米(たわわっこ) ⇒ 主食米(ひとめぼれ)に変更	越田沢	変更なし(飼料米つぶゆたか)
八幡前	飼料米(たわわっこ) ⇒ 主食米(ひとめぼれ)に変更	町 下	変更なし(飼料米つぶゆたか)(大豆リュウホウ)
熊ノ沢	飼料米(たわわっこ) ⇒ 主食米(ひとめぼれ)に変更	鶴子沢	変更なし(飼料米つぶゆたか)
石ノ御前	飼料米(たわわっこ) ⇒ 大豆(リュウホウ・リュウユウ)に変更	大野沢	変更なし(飼料米つぶゆたか) 牧草(イタアンライグラス)
長 者	飼料米(たわわっこ) ⇒ 主食米(ひとめぼれ)に変更 ※長者:一部大豆(リュウホウ)に変更、	沢 前	変更なし(飼料米つぶゆたか)
松 原	飼料米(たわわっこ) ⇒ 主食米(ひとめぼれ)に変更	寺崎前	変更なし(飼料米つぶゆたか)
三 沢	飼料米(たわわっこ) ⇒ 主食米(ひとめぼれ)に変更	梨ノ洞前	変更なし(飼料米つぶゆたか)
宿 下	大豆(リュウホウ) ⇒ 主食米(ひとめぼれ)に変更 ※宿下:とうもろこし圃場は変更なし	刈屋野	変更なし(飼料米つぶゆたか)
寺ノ沢	飼料米(たわわっこ) ⇒ 主食米(ひとめぼれ)に変更	花 貫	変更なし(飼料米つぶゆたか)
上川原	大豆(リュウホウ) ⇒ 主食米(ひとめ・こがねもち)に変更	一ノ坪	変更なし(飼料米つぶゆたか)
沖 中	大豆(リュウホウ) ⇒ 主食米(ひとめ・こがねもち)に変更 ※沖中:一部は変更なし:(つぶゆたか)	女 聖	変更なし(飼料米つぶゆたか)
船 丸	大豆(リュウホウ) ⇒ 主食米(銀河のしずく)に変更	深芦沢	変更なし(飼料米つぶゆたか)
土 樋	飼料米(つぶゆたか) ⇒ WCS(つきはやか)に変更		
立石沢	飼料米(つぶゆたか) ⇒ WCS(つきはやか)に変更		
折手沢	飼料米(つぶゆたか) ⇒ WCS(つきはやか)に変更 ※半分は変更なし(飼料米つぶゆたか)		
尼寺沢	大豆(リュウホウ) ⇒ 主食米(ひとめぼれ)に変更 ※一部は変更なし(飼料米つぶゆたか)		
金山沢	大豆(リュウホウ) ⇒ 主食米(銀河のしずく)に変更		
金取沢	主食米(ひとめぼれ) ⇒ 主食米(銀河のしずく)に変更		
茶名畑	飼料米(つぶゆたか) ⇒ 大豆(リュウホウ)に変更		

(留意事項)

\*この明細は「字名」で記載しています。

\*面積や筆数の多い地区は作業性や水系等を考慮しながら混在して作付けしている場合があります。

⇒たとえば 沖中地内は「ひとめ」「こがね」「つぶゆたか」が混在  
\*「水稻(主食米・飼料米)」から「大豆」に変更される圃場は排水対策を講じながら作付けする計画です。

\*「大豆」から「水稻(主食米・飼料米)」に変更する圃場は水路等の整備や水管理者の選定などを行いながら作付けする計画です。

## 専門家相談会が開催され、直売販売所設置など指導されました。



県では、各法人や農業者を重点支援対象者とし、専門家による相談会を開催しておりますが、1月30日(金)当法人も重点支援対象として、土岐経営支援事務所 土岐徹朗氏の指導を受けました。

当法人は設立から20年経過、水稻を基幹とした土地利用型経営を展開し、地域の担い手として持続的な農業経営を実践、さらに自ら生産した大豆を原料に味噌づくり・販売も実践していますが、今回の相談会では法人の経営診断と六次産業化部門の高付加価値化を目指し、新たな展開として直売所設置などを模索するにあたり指導を受けました。

具体的計画は未だですが、今回の相談会の内容を参考に理事会等で検討して参ります。

※経営診断では「大変立派です」とお褒めの言葉をいただきました。

## ＝春作業に向けロータリーの爪交換＝

ロータリー1機あたり48本の爪を交換、春までにトラクター8台分を交換します。交換後はトラクターに設置します。

更にブロードキャスタなどの作業機械の整備が続きます。加えて圃場(畦畔等)や水路等の整備3月までには終わらせる計画です。



1台48本の爪を交換します。



新品の爪と交換になりました。



交換後はトラクターに設置。

## 《加工部だより》

先月の農産だよりでお知らせしておりましたとおり1月16日より麴・味噌づくりが開始されました。

加工部の皆さんが毎日交替しながら仕込み作業が行われています。

本年度は36樽(1樽65kg)を仕込む計画ですが、1月末現在で8樽を仕込みました。

この作業は4月上旬まで続けられます。

\*熟成した味噌は10月ころから供給する予定です。

皆さんお楽しみに！

## 編集後記

2月4日(立春)を向かえたところ、陽射しも暖かくなり「春近か」という好天になりました。この先、この好天が続くとは限りませんが、天気の日を追い追うごとに春の気配が感じられると思います。

日本海側は2mを超える降雪があり屋根からの落雪で亡くなる方もあったようですが、太平洋側・当地域では雪も少なく乾燥状態が続いています。こうなると春先の水不足が心配されます。

今後、ほどほどに降雪、降雨があれば良いなど

思うところです。(菅原)